

まつけん 松建だより



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

令和元年 10 月 VOL 7

日頃は松本建設事務所の建設行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

元号が令和になり、初めての松建だよりになります。

4月から9月にかけての主な出来事を紹介します。

「信州花フェスタ」来場者数70万人突破！

○53日間の開催を終え、次回開催地広島へ引継ぎ

去る2019年4月25日から6月16日の53日間、想定来場者数50万人を大きく上回る70万人を超える大変多くの皆様にお越しいただきました。

開催前および期間中多くの職員が会場整備などの応援に行っていました。

ご協力に感謝いたします。



北アルプスをバックに一枚、人気スポットでした。
～北アルプスと花の丘～

5月

(国)143号 青木峠バイパスのルートを地元へ提示 上田建設事務所と連携し事業を進める

今年度から交付金として事業化された青木峠バイパスについて、沿線の松本市、筑北村および青木村において地元へルートの発表をしました。

本路線は松本地域と上小地域を結ぶ「松本街道」として発達してきた歴史の古い道路ですが、青木峠付近は未改良で交通の難所となっています。事業化によって地元からは早期開通を期待する声が聞かれるようになりました。今年度は地質調査、路線測量等を進めます。

3市村にまたがる道路になるので、上田建設事務所と連携して事業の進捗に取り組みます。

主要地方道松本塩尻線 塩尻市下村（片丘～棧敷）において 舗装工事（ICT 工事）を実施しました

建設現場では ICT 工事の導入が始まっています。

舗装工事では、センサーで地面の高さを測定しながら、自動で路盤の勾配を調節してくれる重機が使われています。

見学会を開催して、先進技術を現場で見て触れてもらいました。

建設産業における生産性の向上のため、引き続き ICT の活用に取り組んでいきます。



ボブキャット
(ちょっと高性能な機械です)

6月

「松塩筑・南安曇地域総合土砂災害対策推進連絡会」及び 「松本圏域大規模氾濫減災協議会」の開催

○ソフト・ハード対策を一体として取り組む

6月10日、松本管内の国・県・市町村の防災関係者約40名が集まり、災害から人命を守るための目標に対する進捗と、今年度の実施内容を確認しました。全国各地で頻発・激甚化する豪雨が発生する中、護岸や堰堤などのハード対策だけで人命を守るのは難しくなっており、身の危険に関わる情報や避難方法など逃げ遅れを防ぐソフト対策が重要となっています。

会議では5月から開始した「警戒レベル」についての説明がありました。警戒レベルは5段階に分かれており、各種情報（気象情報、河川情報、土砂災害に関する情報）がどのレベルにあたるのか明確にしています。レベル3では高齢者等避難開始、レベル4では全員避難を基本としていますので、市村長は警戒レベル相当情報を基本に、総合的に判断して避難勧告等発令するなど、警戒レベルの理解を深めました。



会長あいさつ（藤池所長）



資料を見ながら説明をうけます。

重要文化財 牛伏川フランス式階段工の除草を行いました

「重要文化財 牛伏川フランス式階段工」周辺の除草作業を行いました

松本市内田地区の牛伏川上流部に位置する牛伏川フランス式階段工は、石積みでできた砂防施設で平成 24 年度に重要文化財（文部科学省）に登録されています。

令和元年度より行政や地元等で構成する「牛伏川砂防施設保全活用連絡協議会」を発足し、草刈り等の維持管理を行っています。

今回の草刈りは協議会としての第 1 回目の草刈りで、松本建設事務所から 31 名、牛伏鉢伏友の会から 2 名と内田地区町会連合町会長の計 34 名で草刈りを行いました。

- 1 日時 : 令和元年 6 月 25 日（火曜日） 10:00～12:00
- 2 場所 : 松本市内田 牛伏川階段工周辺～松建小屋周辺
- 3 参加者 : 松本建設事務所、牛伏鉢伏友の会等 合計 34 名



藤池所長も頑張ってます。



作業後の一枚。皆いい顔しています。

7月

主要地方道松本環状高家線 アルウィン付近の除草を行いました

○長野県建設業協会松筑支部のみなさんと

長野県建設業協会松筑支部のみなさんが毎年行っている「#道路クリーンキャンペーン」に松本建設事務所も参加し、県道松本環状高家線の草刈りやゴミ拾いを行いました！建設業協会の皆さんが手際よく作業を行ってくれたおかげで予想よりも早く作業が終わりました！

暑い中お疲れ様でした。



きれいな道路は皆さんに支えられています。

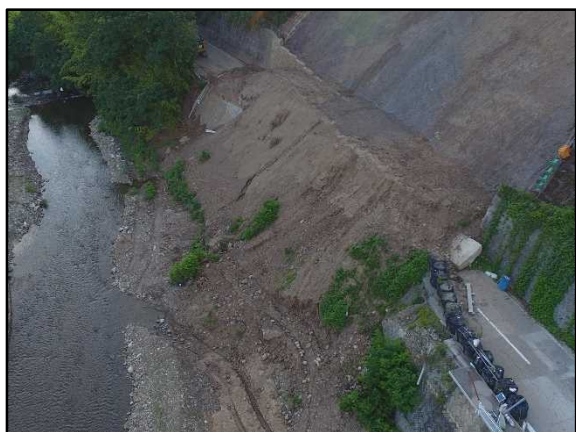
7月

通行止め解除に向けて第1歩！！

○矢室明科線の道路復旧工事に着手しました。

平成29年10月に松本市落水地区で発生した土砂崩れにより県道矢室明科線は通行止めとなっており、地域の皆様にご不便とご迷惑をお掛けしています。

松本地域振興局による県道上部法面の土砂撤去が完了したため、7月下旬より通行止め解除に向けた道路復旧工事に着手しました。現在は川側の護岸を設置する作業を行っており、12月下旬には通行止め解除となる見込みです。工事が完了するまでご迷惑をおかけしますが、もうしばらくご協力をお願いします。



工事着手前の土砂堆積状況(令和元年7月下旬)



護岸整備前の掘削状況(令和元年9月中旬)

9月

藤池所長・若手職員 意見交換会を行いました

○所長の思い、若手の思い

若手職員は将来やってみたい仕事等を所長に報告し、所長からはプロ意識や、なにより健康が大事と話がありました。最後に、周りに相談しにくいことがあれば所長に気軽に相談して！と言われたのが一番ありがたいお言葉だったのでないでしょうか。



藤池所長、次長、課長
次世代を担う若手職員と一緒に

「防災×耐震化DAY ～大規模地震に備える～ in 松本合同庁舎」の開催

9月26日、松本合同庁舎で、大規模地震発生時の対応やどのような準備をしておくかを学ぶ防災イベントが開催され、松本建設事務所では、地域の建築士さんの協力を得て「住宅耐震化の無料相談会」を開催し、地域の皆さんが「私の家は大丈夫？」などの相談に訪れました。

ところで、大規模地震では昭和56年以前の木造住宅に特に大きな被害が出ているのをご存知ですか？

昭和53年の宮城県沖地震の被害を受け、昭和56年から、より強い地震に耐えられるように法律が改正されており、平成28年の熊本地震でも昭和56年以前の木造住宅に大きな被害がでています。

昭和56年5月31日以前に工事着手した一戸建ての住宅(木造在来工法)にお住まいの方は、市町村の無料の耐震診断を受けることもできますので、是非、市町村担当課に相談をしましょう。



真剣な面持ちでの相談



大勢が聴講した講演会

～編集後記～

令和元年になり1回目の発行になります。

今年度は「信州花フェスタ2019」が4月25日から6月16日まで行われたため、あっという間の3か月だったように感じます。お祭りのフェスタが夢のように過ぎてしまい、気がつけば上半期も終わってしまいました。建設事務所の仕事は色々ありますが、紙面を通して少しでも知って頂けたらと思い作成しています。

時代は平成から令和へと新しい時代に入りました。皆様にとって令和という新しい時代がよい時代になればいいと願っています。